

授業科目(ナンバリング)	スクール(学校) ソーシャルワーク論 (DB320)			担当教員	安藤 佳珠子		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>この授業の目的は、学校という場において、児童・生徒が抱える問題を、ソーシャルワークの理念と方法に基づいて、学校はもとより関係各機関と連携して、子どもたちが安心して教育を受けることができるようにするための条件を整備していく具体的実践の方法を知り行うことができるようになることに置く。</p> <p>また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生がソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について、具体的に学ぶことも重視する。</p> <p>スクール(学校) ソーシャルワーク課程履修予定者には必修となる。</p>							①⑤⑦⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	子どもたちが抱える問題とその背景から、スクール(学校) ソーシャルワークが必要となる理由を説明できる。ゲストスピーカーに子どもたちを取り巻く問題について質問することができる。			予習・復習の実施状況 第1・10回授業内の発言内容		20% 5%	
情報収集、分析力	通信制高校の実態について説明することができる。			第2回レポート		20%	
コミュニケーション力	授業内で自分の意見を適切に伝えることが出来る。			ディスカッション内容		15%	
協働・課題解決力	他職種とスクールソーシャルワーカーの相違と、多様な職種や地域が連携する必要性について説明できる。			第3回レポート		20%	
多様性理解力	不登校の子どもたちの実態について説明することができる。			第1回レポート		20%	
出席				受験要件			
合計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験は実施せず、3回レポート60%と、予習復習の実施状況および授業での発言内容40%で評価する。レポート課題は、第6・8・10回の授業内で提示し、ポートフォリオにて提出する。また、授業の復習として、学んだ内容のまとめを課し、ポートフォリオにて提出をする。すべての提出物は、次の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>今日学校教育現場が抱える課題とスクール(学校) ソーシャルワーカー導入の意義、スクール(学校) ソーシャルワークの発展過程、目的・価値、スクールソーシャルワークの方法技術、スクールカウンセラーとの異同、多職種との共同・連携、スクールソーシャルワークの実践事例などについて概説する。授業では、学生には意見を求めたり、議論してもらったり、またグループワークを活用しながら、授業内容の理解を深める。佐世保市青少年教育センターや、児童養護施設、里親、子どもサミット、通信制高校などの地域の協力を得て、長崎県や佐世保市における子どもを取り巻く環境を理解していく。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分です。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：山野則子・野田正人・半羽利美佳編(2016)『よくわかるスクールソーシャルワーク第2版』ミネルヴァ書房 参考書：日本学校ソーシャルワーク学会編集(2008)『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』中央法規 指定図書：山野則子・野田正人・半羽利美佳編(2016)『よくわかるスクールソーシャルワーク第2版』ミネルヴァ書房</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してこること。 ・出席は最低限のルールとする。 ・授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。また、それらの行為については、教員から注意し、その後も改善が見られない場合は、退室を求める。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の進め方や評価の方法について整理する。 佐世保市青少年教育センターの職員から、学校を取り巻く状況について聞く。 (ゲストスピーカー・実務家)	予習：シラバスを読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
2	スクール(学校)ソーシャルワークの必要性①	子どもたちを取り巻く状況や環境について知り、スクール(学校)ソーシャルワークの必要性について理解する。	予習：p2-13を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
3	スクール(学校)ソーシャルワークの必要性②	子どもたちを取り巻く状況や環境について知り、スクール(学校)ソーシャルワークの必要性について理解する。	予習：p14-23を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
4	スクール(学校)ソーシャルワークとは	スクール(学校)ソーシャルワークの価値・目的、意義およびスクールカウンセラーとの違いについて理解する。	予習：p24-33を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
5	スクール(学校)ソーシャルワークの歴史と動向	諸外国や日本のスクールソーシャルワークの歴史を知り、現在のスクール(学校)ソーシャルワークの位置づけを理解する。	予習：p34-51を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
6	佐世保市における不登校の子どもたちの実態	佐世保市で開催される子どもサミットに参加し、不登校の子どもたちの話を聞く。 第1回レポート課題を提示する。	予習：不登校の子どもへの質問内容を考え、ポートフォリオにて提出する。 復習：子どもサミットに参加した感想を、ポートフォリオにて提出する。
7	学校教育の特徴	学校文化、教育に関する法律、教育行政について知り、学校教育の特徴を理解する。	予習：p52-71を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
8	佐世保市内の通信制高校の実態	佐世保市内の通信制高校の実態について知る。 第2回レポート課題を提示する。	予習：通信制高校について調べ、ポートフォリオにて提出する。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
9	スクール(学校)ソーシャルワークの基礎理論	エコロジカルアプローチ、ストレングス、エンパワメントについて学び、グループワークを用いて理解する。	予習：p96-113を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
10	被虐待児童への対応の実態	児童養護施設の社会福祉士と里親から、要措置となった子どもへの対応について聞き、学校との連携のあり方について理解する。 (ゲストスピーカー・実務家) 第3回レポート課題を提示する。	予習：虐待事例への対応について調べ、ポートフォリオにて提出する。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
11	スクール(学校)ソーシャルワークの展開過程①	不登校・非行・虐待・発達障害等の個別支援における実践例を学ぶ。	予習：p114-119を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
12	スクール(学校)ソーシャルワークの展開過程②	集団支援における実践例を学ぶ。	予習：p114-119を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
13	スクール(学校)ソーシャルワークの展開過程③	学校内の支援ケース会議やコンサルテーションにおける実践例を学ぶ。	予習：p120-127を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
14	スクール(学校)ソーシャルワークの展開過程④	スクールソーシャルワーカー活用事業や教育委員会との協働における実践例を学ぶ。	予習：p128-133を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
15	スクール(学校)ソーシャルワークの課題と展望	スクール(学校)ソーシャルワークの抱える課題について理解する。	予習：p226-241を読んでもくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。